

# 大雨・台風に備えましょう!!

警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします。

## 早め早めの行動が命を守ります

テレビ、ラジオ、気象庁ホームページなどで、最新の防災気象情報を収集するように心がけましょう。危機を感じたら自主的に避難することが重要です。「自分は大丈夫」と思わず、早めに避難しましょう。この「瀬戸内市防災ハザードマップ」を活用し、周辺の危険箇所・避難場所を確認しておきましょう。

## 避難の情報

瀬戸内市から発令される避難情報等には以下のものがあります。必ずしも、この順番で発令されるとは限りません。「自らの命を守る」ため、必要な避難行動をとりましょう。

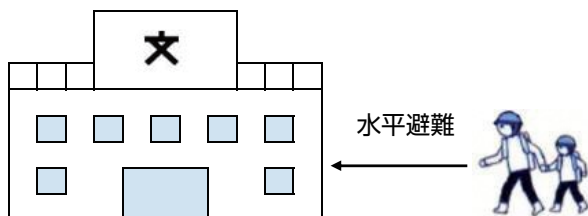
警戒レベル	避難行動等	避難情報等
<b>警戒レベル5</b>	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> 災害が発生または切迫した状況です。立ち退き避難することがかえって危険である場合、建物内の少しでも安全と思われる場所に移動しましょう。	緊急安全確保※1 (瀬戸内市が発令)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難しましょう! > ~~~~~		
<b>警戒レベル4</b> 全員避難	<b>危険な場所から全員避難!</b> 災害発生のおそれが高い状況です。危険な場所から全員避難(立ち退き避難又は屋内安全確保)しましょう。	避難指示 (瀬戸内市が発令)
<b>警戒レベル3</b> 高齢者等は避難	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 高齢者や障害のある方およびその支援者などは避難を開始してください。その他の方も避難の準備をしたり、状況に応じて早めの避難を始めましょう。	高齢者等避難 (瀬戸内市が発令)
<b>警戒レベル2</b>	<b>自らの避難行動を確認</b> 防災ハザードマップで自らの避難行動を再確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁発表)
<b>警戒レベル1</b>	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁発表)

※1 緊急安全確保は災害が発生または切迫した状況であることを把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。緊急安全確保の発令を待ってはいけません。

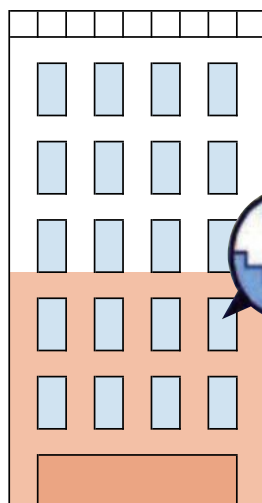
## 2つの避難行動

### 立ち退き避難(水平避難)

市が開設している浸水区域・土砂災害警戒区域以外の安全な場所へ避難しましょう。安全な場所にある親戚や知人の家に行くのも避難です。



垂直避難



### 屋内安全確保(垂直避難)

水平避難が難しい場合は、2階以上の山側から離れた部屋など、少しでも安全な場所に避難しましょう。